

会津若松市食育推進における食育ネットワークの役割について ※食育推進計画等より

【社会背景】

- 食の多様化(女性の社会進出、単身世帯の増加、高齢化の進行など)
- 栄養の偏り、不規則な食生活などが大きく関係すると考えられる”肥満”、生活習慣病等の健康課題
- 流通の多様化(海外農産物輸入、季節に関係ない流通など)の招く、旬、地域産物を意識しにくい現状
- 医療費、介護に係る費用の増大による市民生活の圧迫
 - ・国保一人当たり医療費:279,797円<H22>、一般会計から115,572,000円繰り出し<H22>
 - ・高額医療の1件当たり1位腎不全…透析導入により高額化[原因の50%以上が糖尿病の悪化]
 - ・介護保険料 46,800円/年[H21-23基準額3,900円/月]→59,400円/年[H24-26基準額4,950円/月]
- 朝食摂取率…市小学生98.6%、市中学生94.2%、会津地区県立高校生87.7%<H22>
 - ・週6回以上三食食べている人…20-30歳代 66.5%<H19市健康意識調査>
- 肥満児割合…幼稚園児5歳児・男子:福島県4.61%、国2.75%
 - 女子:福島県3.97%、国2.65% <H21学校保健統計調査>
- 特定健診(40-74歳)受診率 国保40.87%<H23>、内メタボリックシンドローム該当者 18.56%<H23>

【健康への取り組みと食育】

小さな頃から食育に取り組むことは、食への理解と関心を高め、自分に合った食材を選び、調理して食べるのできる力を育み、元気なからだをつくります。
 食べるということは、生きること、「いのち」をいただくということであり、食べものに感謝し、食事を作ってくれた人、生産してくれた人々に感謝する心を育みます。
 みんなが食育に取り組むことにより、食にかかる生産、流通、消費により積極的な交流が生まれ、それが地域活性化につながって、まちが元気になることを目指します。(食育推進の基本方針より)

【食育ネットワークと期待されるもの】

食育を進める個人・家庭・地域・団体・事業者等が、市民が主体的に食育に取り組んでいくことができるよう、ネットワーク化を進め、協力・連携して活動をしていきます。
 ネットワーク化により、食育推進計画と個々の食育の取り組みの調整を図るほか、情報交換や事例発表、構成員による学習会などを行い、会員間の連携・協力体制を構築し、地域での食育マンパワーの増加と、内容の充実を図ります。
 また、年度ごとの重点目標を明らかにし、それをしっかり共有しながら市民運動として食育をすすめます。

平成27年度は計画中間評価年度として実態調査を実施しました。

その結果については、食育ネットワーク会員・協力会員を中心に説明会を開催した他、広く、H28.9及びH29.2会津若松市広報やホームページ等でお知らせいたしました。

